謹賀新年

介護支援専門員協議会
ケアマネ奄・喜会報

平成28年1月1日
第1号　発行
編集：広報委員会
会報お問合せ先
[事務局]
〒894-0023　奄美
市名瀬永田町4-15
電話0997-55-1911
担当者（事務局長）
中里　浩然

新年を迎えて

支部長　増田　幸雄

新年あけましておめでとうございます

昨年も会員の皆様のご支援を頂き、活動をより幅広く行う事ができました。本年も引き続きご支援、ご協力をお願いします。

このたび会報第1号をお届けすることになりました。当支部では会員の相互交流とケアマネジメントの資質向上を活動の柱に取組でおり、今回の会報発行はその一環です。今後皆様からご意見をいただきながらより良い誌面作りを目指してまいります。

さて、新年にあたり初心に帰る意味合いも含めて、昨年「何ができるようになったか」いま「何が苦手か」を振り返る時間をもってみてはいかがでしょうか。利用者支援は「直接支援」と「間接支援」に大別されます。「直接支援」には相談援助、アセスメント・ニーズ設定などがあり、「間接支援」にはサービス調整、コーディネート、保険者への提言・社会資源の開発などがあります。そして昨今、3つ目の支援として「援助者の支援」がクローズアップされるようになりました。「援助者の支援」には、多職種協働、スーパービジョンなどがあります。

介護支援専門員は社会的にも認知され、以前に比べると格段に”つながりやすく・動きやすい”環境になりました。しかし同時に専門職たる知識と技術の発揮が私たちに強く求められるようになってきたのも事実です。

援助者を支援するためには自らのスキルアップが欠かせません。施設でも居宅でも求められていることは同じです。これからも向上心と好奇心を抱き続け、フットワークの軽い行動力・実践力をもって挑戦（トライ＆エラー）を続けていきましょう。

年頭にあたり、まずは初心に帰って、「聴く」そして「訊く」ことから始めてみるのも良いのではないでしょうか。奇しくも来年度から研修体系が大きく変わります。詳細は別述しますが医療的知見、事例研究、多職種協働、そして主任介護支援専門員の地域的役割などのスキルアップが求められる内容となっています。

私たちは利用者の人生（のぞむ暮らし）を支援するプロです。プロ集団として今年も一層の知識と技術の集積を図る年にしたいと思います。冷静な頭脳と温かい心をもって頑張りましょう。

新しい年を迎えて

顧問　朝沼　榎（医療法人碧山会理事長）

新年を迎えました。明けましておめでとうございます。最近、テレビや新聞などで団塊世代の後期高齢化による、いわゆる２０２５年問題が注目されていますが、私たちの住む奄美群島では早くも数年後にはそのピークを迎えると考えられています。国は介護支援専門員の安定的な数の確保を目指してきましたが、現在は質の向上に於いても力点が置かれています。近い将来、介護保険と医療保険の財源が確実に確保されることになれば、運用の面でも一体化されることになるでしょう。そのため現制度では介護保険だけの資格ですが、将来的には現在の資格に様ざまなランク付けをすることも可能になるかもしれません。そうなれば、より多くの期待が介護支援専門員に求められることになるわけですから、今の段階からその準備をして様ざまな要求に応えられるだけの技量を身に付けられるようにしなければなりません。ＡＤＬの改善だけではなく、今後は、看護師のような医療の知識、ソーシャルワーカー（社会福祉士）・精神保健福祉士のように法的な制度や福祉の知識を修得することも必要となってきます。このように介護支援専門員が、医療従事者や多職種間のコーディネーターとしての役割を果たすことができれば、地域住民の皆さまの幸せのためにこれまで以上に貢献することができるようになるのではないでしょうか。今後はより一層のレベルアップに努め、介護支援専門員の皆さまの活躍の場がどんどん広まっていくことを切に願っております。

『新年を迎えて』思うこと

ケアマネ奄・喜支部協議会会員の皆さまあけましておめでとうございます。そして、年男・年女の皆さま重ねておめでとうございます。

今年は、申年ですね。この『申』の字の意味合いをご存知でしょうか？　嬉しいことに　とても素敵な意味がありました。　果実が成熟して固まっていく・・・と言う事だそうです。

まさしく私どもケアマネ協議会とマッチした年になりそうです。今年も会員の皆さまと力を合わせて介護支援専門員の地位の向上、並びに利用者の皆さまの『自立支援』を目指してお仕事をさせていただきたいと考えています。　本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ケアマネ奄・喜支部
協議会　副支部長
居宅委員会長
むかいクリニック
居宅支援事業所
行　勝代

新年を迎え

副支部長　福留　成吉

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当会の諸活動にご協力を賜り誠にありがとうございました。

新年を迎えましたが、我々ケアマネジャーは、24時間、365日利用者様が、安心、納得いく自立した生活を営むために走り回り、年始から忙しくされている方も多いのではないでしょうか？

今年の干支は「申」であります。「申」は「去る」という意味を表し、多忙な一年が一瞬で過ぎ去ってしまうのではないかと思います。要領が悪い私は、少しでも要領よく仕事ができるようにと思っています。また、「去る」の意味では、「悪い事が去る」「病が去る」と言い、良い事や幸せがやってくるという一説もあります。我々の今後のケアマネジメントが利用者様にとって「悪い事が去り」「病が去って」幸せがやってくる年にできるように、共に笑顔で元気に頑張っていきましょう。当会会員の皆さまのご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

【新春企画】　「ケアマネ新旧対談」を変更し「瀬戸内町のケアマネ対談」・・・・・結果！！

瀬戸内美人ケアマネ対談

岩井　理沙(以後「岩」：写真右：明けましておめでとうございます

沖　純香(以後(沖)：写真左：おめでとうございます。今年もよろしくお願いします

岩・沖：(笑)　岩：新春・創刊号の「ケアマネ新旧対談」なんてひどい。私はまだまだ「新」のつもりだったのに！

(苦笑)…堅苦しいので「瀬戸内町のケアマネ対談」に勝手に変更しましょう…(笑)

※　記者：私も勝手に変更します！！(内緒！)

沖：岩井さん！この機会に聞きたいことがあります！　岩：なに？！なに？！

沖：アセスメントの情報収集で、利用者のプライバシーにかかわることを聞き出すのはどれくらい重要ですか？

岩：私は介護に関すること以外は聞かない　当面は！　沖：生活歴とかは？

岩：聞きますが、最小限にしています　最初からすべて聞き出せるとは思っていません　昔はそれこそ根掘り葉掘り聞いていたかも　笑☺　沖：私、今そんな風になっているかも自分だって聞かれたくないのに。そのくらいのスタンスでいいんですね…。でも習った通りにプランに生かすためには必要なのかな？って義務みたいに思ってやっています　岩：情報がたくさんあった方がいいプランができる　その点は間違いないけど　一回二回の訪問で何もかも話してくれる人はいない　月並みだけど利用者さんの所に何度も足を運ぶこと、仲良くなる事、相手の事を聞き出すだけじゃなく、沖さんの事も相手にわかってもらう事！！　私、けっこう自分の事をいろいろ話しちゃう

沖：そうじゃないとフェアじゃないですよね　岩：自分の事をあれこれ話すのが得意じゃなければ、アセスメントシートを利用者に見せて「これ、作らないとプランも作れないので協力ください」と言ってしまうのも手ですよね

沖：あ、私、利用者さんにお金の事を聞くときとか「ココ埋めなくちゃいけないので」と言っています

岩：それでいいかと思います　ね～対談って難しいよね！新年・創刊号にふさわしく対談できたかな？

沖：たぶん大丈夫です。　岩：きっとうまく話せたよね…(笑)　沖：では、この辺で終了しましょうか、ありがとうございます　岩：ありがとうございます。何かあったら電話で連絡させてね(笑)　沖：私もお願いします。(笑)

岩井：あっ！！！　私一つ目標があります　瀬戸内町内ケアマネさんに声をかけて仲良くなる活動をしたいと思っています　狭い地域だからみんな顔が見える関係なのにどこか他人行儀　(笑)　ケア会議とは違うざっくばらんな場所と雰囲気で交流を図れたらいいなぁ～と思っています　町内のケアマネが協力すれば一人ではできない事も実現するかもしれないし、ケア会議では言えないような日頃の愚痴とか言い合う場所や時間も大事だと！！それも目的のひとつ！　沖：いいですね～　ぜひ、参加させてください！

気を付けよう　自分の資格管理！！　介護支援専門員の資格更新時期覚えていますか？

5年事に更新手続きが必要となり更新研修（専門ⅠとⅡ）もしくは実務研修（資格取得時の研修）が必要です。

2 回目以降の更新研修は、違う研修参加内容になります。詳しくは、鹿児島県ホームページ内で、「介護支援専門員の更新研修について」と検索してみましょう！！！自分の資格証の期限を確認しておきましょう！！！　28年度は、29年3月頃が期限になっている方が対象だと思います。

✪協議会では、加入時と総会時に資格の届け出をしてくれた方には、葉書を郵送することを検討しています。　総会の時にご意見を下さい。

【主な研修の変更点】

- ✪ 専門研修は、地域性を重視して、鹿児島・大隅・大島の３会場で開催予定となります。(協議会として、指導講師の確保等、指導者の育成が求められています)
  ※主任介護支援専門員は、求められる人材像から鹿児島のみでの開催となります。
- ✪ 受講資格取得時や実務経験の無い方の実務研修は・・・現行４４時間から　→　８７時間になります。(現在の基礎研修を統合した形となっていますが、それでも１０時間の時間増となっています)
- ✪ 更新研修（専門Ⅰ）は、３３時間から　→　５６時間（全日程で９日間（2～3回に分けて行われる））になります。
  ※大きく７項目の研修が増え、医療との連携や多職種協働・振り返りからの課題設定といった内容が、新たに盛り込まれています。
- ✪ 更新研修（専門Ⅱ）は、２０時間から　→　３３時間になります。
  ※7領域より一つの事例提出（①リハビリテーション及び福祉用具の活用　②看取りにおける看護サービスの活用　③認知症　④入退院時における医療との連携　⑤家族への支援の視点が必要⑥社会資源の活用に向けた関係機関との連携　⑦状況に応じた多様なサービス（地域密着型サービス・施設サービス等））を行い研究・発表が行われます。
- ✪ 現行の主任介護支援専門員の更新研修が新設され、①介護支援専門員に係る研修の企画、講師やファシリテーター経験者　②地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等に前年度４回以上参加　③日本ケアマネジメント学会等が開催する研究大会等において演題発表等の経験者　④日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャー　⑤主任介護支援専門員の業務に十分な知識と技術を有する者で都道府県が適当を認める者。の内、１つに該当する者が対象（対象というより受講資格に近いと感じます）となります。当然、事例提出が必須です。

☆彡　詳細は、県発表をご確認ください。(まだ、公表には至っていません）協議会でもお知らせする方法を検討していきます。

【研修会予定のお知らせ】　ケアマネ奄・喜　第２回研修会　「日本介護支援専門員協会　鷲見　よしみ　会長　講演会」　【研修日】平成２８年２月２６日（金）

【時　間】開演１６時３０分～終演１８時００分　【会　場】県立奄美図書館４階研修室　【参加費】無料　(出欠確認検討中)

※歯科医師から介護の世界へ、山梨県介護支援専門員連絡協議会の会長、日本介護支援専門員協会の副会長を経て、会長に就かれました。働く女性としてのメッセージや困難な介護事業立ち上げの経験をされてきた講師に貴重なお時間を頂きました。　是非、ご参加ください。

編集後記：以前に会報誌を作っていたとの情報もあったのですが、正確な発行号数が把握できなかった為、ケアマネ主導の協議会体制変更後、初という事で、　第１号とさせて頂きました。先輩方には、ご理解鵜頂きたいとお願いいたします。初めての会報誌を企画してみました。継続できるかは・・・・・・・？　もっと写真を掲載したかったのですが・・・・・嫌がる方が多くて、無理やり乗せた方には・・・ありがとうございました。✪ホームページの更新もタイムリーにしていきたいのですが、追いつかない状況で！　会員の皆さんや掲載依頼を出して頂いている方に申し訳なく思っております。今後、スムーズな更新を心掛けていきます。
✪皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。　会員の皆様の協議会として、参画して頂ける協議会を目指していきます。　広報委員会一同

【協賛（広告）募集】

ケアマネあまき（協議会）の会報誌を定期発行していく事を検討しています。ですが、予算上厳しい所です。つきましては、発行協賛として募集をしています。個人・法人を問いませんが、協賛金額や掲載内容に関しては、応相談となります（NPO法人としてのルールもありますので)。お気軽に事務局までお問い合わせください。問い合わせ先は、１面に掲載（事務局まで）しています。